

【オリコンサルグローバルJV マニラ地下鉄PJ事務所が開所

入札支援、施工監理など担当】

マニラ地下鉄PJ事務所が開所

入札支援、施工管理など担当

オリコンサルグローバルJV

日本企業6社で構成のオリエンタルコンサルタツングローバルJVが入札支援、施工管理などのコンサルタツト業務を担当する「フィリピン国マニラ首都圏地下鉄事業」プロジェクト事務所の開所式が7月18日、フィリ

ピン・マニラ首都圏で開催された。式典にはフィリピン運輸省、在フィリピン日本大使館、国際協力機構（JICA）の関係者や日本JV、比国のアソシエーションメンバ

ーなど約200人が参加、プロジェクト関係者間の連携を確認しプロジェクトの円滑な進捗を願った。

マニラ首都圏では人口増加に伴い交通渋滞が深



テープカットのようす

刻化し、同国の国際競争力低下の要因となっている。同事業は、マニラ首都圏の大規模公共交通網の南北軸として、北部ケ

ソン市と南部パラニャケ市を結ぶフィリピンで初となる地下鉄（地下15駅、延長約31・4キロ）を整備する。同事業に対する円借款には本邦技術活用条件（STEP）が適用され、地下トンネル掘削、狭隘な部分での施工、耐

震設計、信号システム、車両などに日本の技術が活用される予定。

オリコンサルグローバルJVは、18年11月にフィリピン運輸省から同事業の入札支援、施工管理などのコンサルタツト業務（約260億円）を受注した。同事業の先行工区（3駅と車両基地）は22年、残り工区（12駅）は25年の供用開始を予定している。